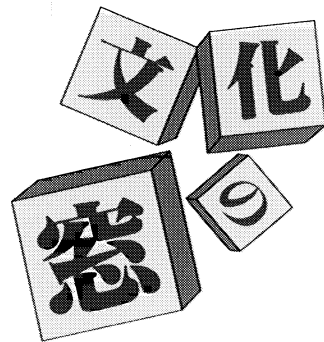


県立博物館 春の企画展

戦国の城

— 天守閣への道 —



今回の企画展のなかで、伊達輝宗という武将の自筆の日記を展示しています。輝宗は、有名な独眼龍政宗の父にあたる人物で、米沢城に住んでいました。

毎日の日記は、その日の天候からはじまり、城の内外でのさまざまなできごとをじつにリアルに記しており、たいへん興味深いものです。

ある年の4月18日の日記には、晩から城内で「たいさんほく」の花見をした、と書かれています。「たいさんほく」は、おそらく泰山木という木のことで、この木は初夏に白い大輪の花を咲かせます。その花を観ながら、若武者たちを集めて花の宴を催す。何とも風流な光景ではありませんか。戦国の城の情景は、血生臭い戦闘シーンで彩られるばかりではなかったのです。

企画展では、城館跡から発掘された様々な生活の道具類を展示して、そうした戦国の城の暮らしをできるだけイメージしていただけるよう工夫しています。また、以下のような関連行事も実施します。

○ 記念講演会

「日本中世の庶民生活」

講師：歴史研究者 網野善彦先生

5月24日(日) 13:30～ 博物館講堂にて入場無料

○ 一般講座

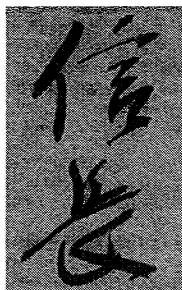
「戦国の城 武将の日記・手紙を読む(第2回)」

講師：学芸員 高橋 充

6月6日(土) 13:30～ 博物館講堂にて入場無料



伊達輝宗像 (仙台市博物館蔵)



「信長」



「合戦」

(いずれも「伊達輝宗日記」
仙台市博物館蔵)

会 期 ○ 4月18日(土)～6月14日(日)

休 館 日 ○ 毎週月曜日